

ダイハードネットワーク ～レジリエントな情報通信基盤を目指して～

災害発生時の問題

災害対応のための
被災地情報が得られない



インターネットに
つながらない



ひとたび公衆通信網が途絶すると、
通信ができなくなり、復旧にも時間がかかる

ダイハードネットワークとは？

解消するために・・・

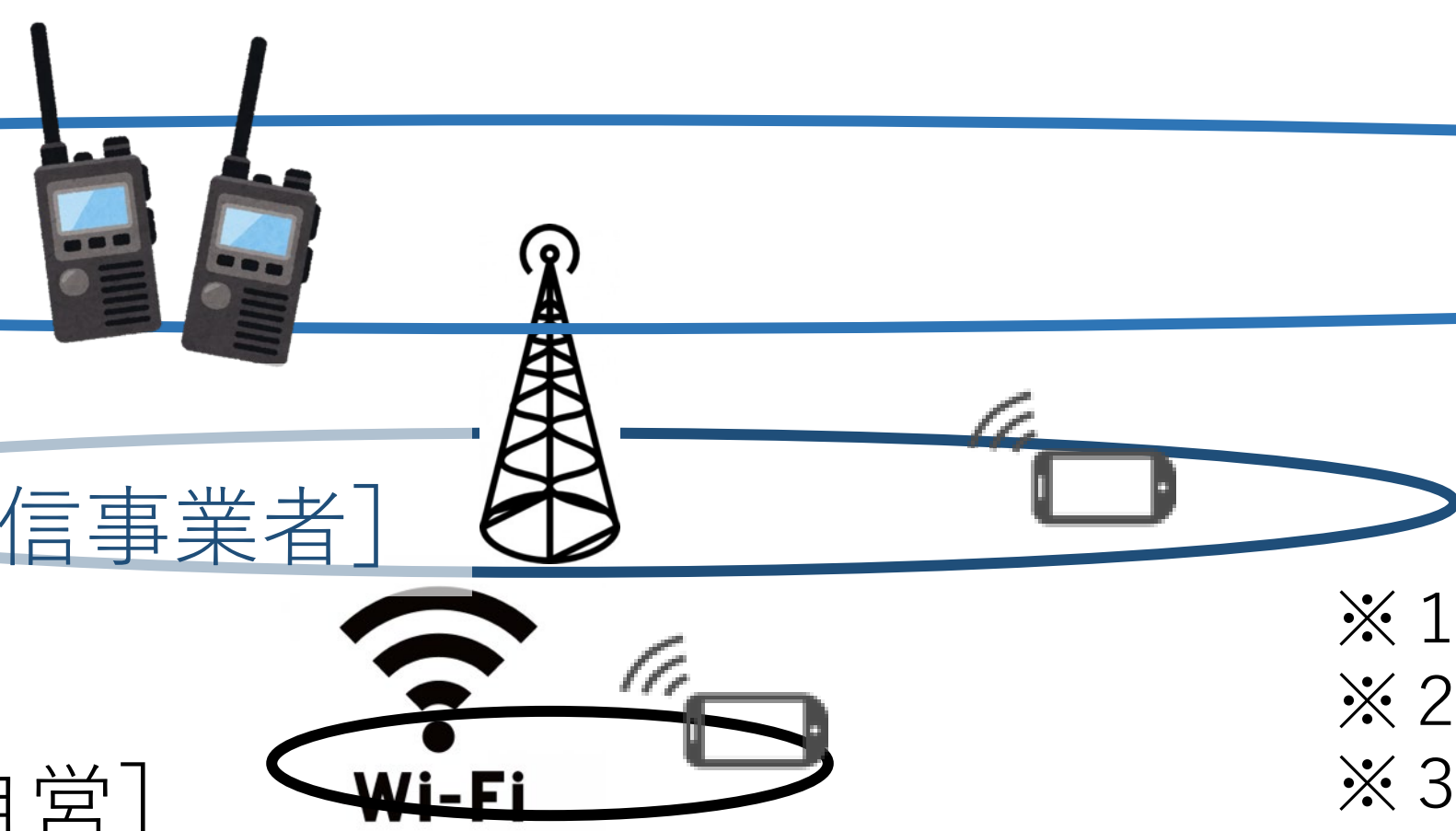
様々な通信手段を駆使し、切れにくく、しぶとく生き残り続けるネットワークシステムの
コンセプト

様々な通信手段を組み合わせ、つながりつづけるようにアプリケーションサービスを制御

簡易無線※1、LPWA※2など
[特徴：長距離、低速、自営]

携帯電話、IP無線※3など
[特徴：中距離、中～高速、通信事業者]

無線LAN (Wi-Fi) など
[特徴：短距離、高速、自営]



切れても使える

※1：総通局に登録が必要で351MHz帯を使用する。
※2：免許、登録が不要な920MHz帯を使用する。
※3：携帯電話回線（パケット）を使用する。

たとえ通信が途切れても通信装置を持ち運んで情報を安全に自動共有、装置単体でも継続利用可能



都道府県災害対策本部

市町村災害対策本部

被災現場

システム構成例

